

## 11 月 28 日：VN 指数は反発 (VN-Index +0.68%)

- VN 指数は昨日の下落を引きずり、本日も下落して取引を開始した。投資家心理は弱含んでおり、徐々に下げ幅を広げていった。
- 不動産、金融サービスの下落が相場の重しとなっていた。
- 午後に入ると押し目買いが入り指数は上昇に転じたが、その後も上下した。
- 指数は最終的に上昇して取引を終えた。ほとんどすべてのセクターが上昇したが、小売とヘルスケアは下落していた。
- 相場は買い優勢となり、290 銘柄が上昇、210 銘柄が下落、100 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は 18.6%増加し、売買代金はわずか 14 兆ドンとなった。

## VN30 指数は 1%近く上昇 (VN-30 +0.94%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、上昇が 22 銘柄、下落が 4 銘柄、4 銘柄が変わらずだった。
- STB (+2.74%) と VHM (+2.39%) が相場をけん引した。
- 一方で、CTG (-0.34%) と HDB (-0.28%) は大きく下落した。

## セクター・個別株の動き

- ACV (+0.44%) は 5 大空港における車両入場料の自動料金所設置計画に関する承認を受けた。同社はこのプロジェクトに 2140 億ドンを投資する予定で、完成にあたり、空港近辺の自動車の混雑改善が図られる見込みとなっている。
- VOC (+0.00%) は 12 月 12 日に臨時株主総会を開き UPCoM 市場からの登録を廃止する予定となっている。同社は株主数が足りず、公開会社としての要件を満たしていない。
- 外国人投資家は 473 億ドンを買い越した。DGC が大きく買い越されていた一方、VNM と VCI は売られていた。

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。